

ひょうかい

氷塊の流量計測を目的としたインパクトライン流量計の実用例

- ① 製氷機で氷 (Block of Ice) を作り、氷がストッカーで蓄えられた後、クラッシャーで小さい氷塊に粉碎されます。
- ② 氷塊はスクリーコンベアで流され、インパクトライン流量計を通過して、漁船、ダンプトラック、コンテナに供給されます。
- ③ 氷塊供給の運用方法は、2パターンあります。
パターン1は、専用メダルを使用。パターン2は押しボタンを使用です。
 - 1) メダルは一種類。1枚=10kgで、必要量のメダルを投入する方法。
 - 2) または大メダル=20kg、中メダル=10kg、小メダル=5kgと3種類。必要量のメダルを投入する方法。
 - 3) 押しボタンを1回プッシュで10kg出す方法。

メダル投入式も、押しボタン式も、制御盤内に指示装置があり、インパクトライン流量計を通過した積算カウント (重量パルス) によって、スクリーコンベアが自動停止する仕組みとなっている。

(これは、氷塊プラントメーカー側でプログラム設計し、電気工事している。)



漁船 (魚類冷凍用)

